

令和4年度 上尾市水道事業実動班 活動報告

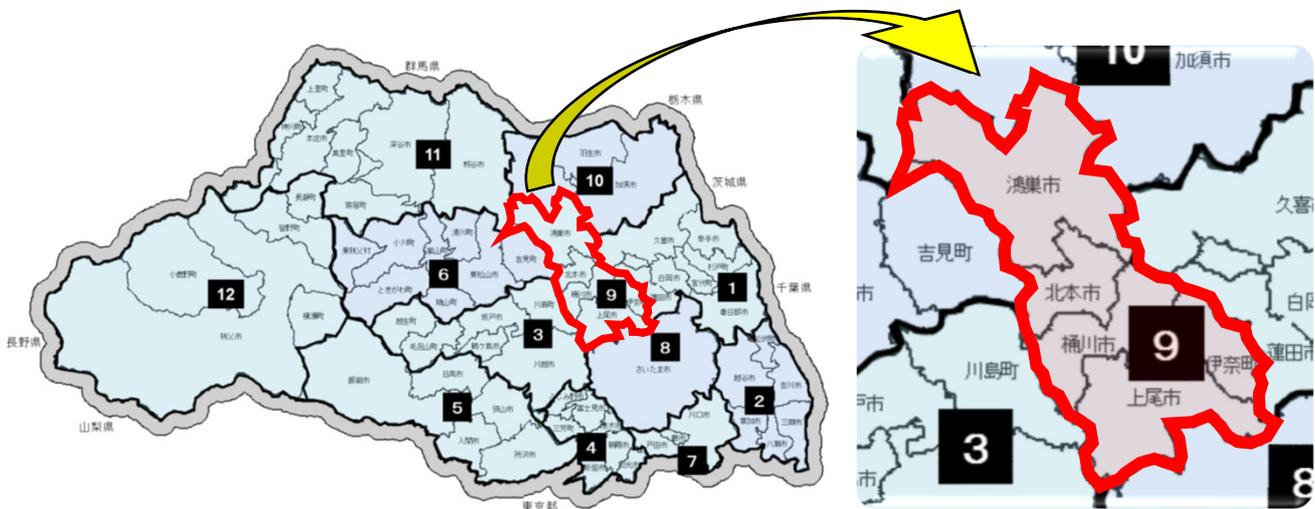
上尾市水道事業では、日常起こり得る「事故」「災害」への対処訓練を行う目的で「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、日常訓練により培われた技術が、来たる大規模災害への対応に繋がると確信し、各種の講習会や実技訓練を積み重ねております。また、これらの訓練を継続することで、迅速な災害対応ができる職員の育成と水道技術の継承が成されるものと考えます。

近隣水道事業体技術研究会 が開催されました

去る 令和4年10月27日(木) 上尾市上下水道部庁舎におきまして、近隣水道事業体技術研究会が開催されました。昨年度に引き続き、2回目の開催となります。

本研究会は、埼玉県水道広域化実施検討部会の第9ブロックに位置付けられている5市町の4事業体「**鴻巣市上下水道部**」「**桶川北本水道企業団**」「**伊奈町上下水道課**」「**上尾市上下水道部**」によって形成されており、各事業体の現状や課題に対する意見交換を実施し、水道事業の将来像について検討しております。



《埼玉県水道広域化実施検討部会区割り図》

《第9ブロック》

今回は、4事業体から15名の参加があり、上尾市上下水道部の職員を含め総勢34名での開催となりました。上尾市からは実動班員を中心に参加しました。

「HIVP管(※)を使用した応急給水栓の製作」をテーマとして、実技を中心に実施いたしました。

応急給水栓は、災害や事故などにより断水エリアが生じた際に、既設の消火栓等に設置することで応急的に給水活動を行う有効な手段となります。

(※)耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管

開会・講義



《幹事の鴻巣市
上下水道部長
より開会の挨拶》



《会場となった上尾市
上下水道部長より挨拶》



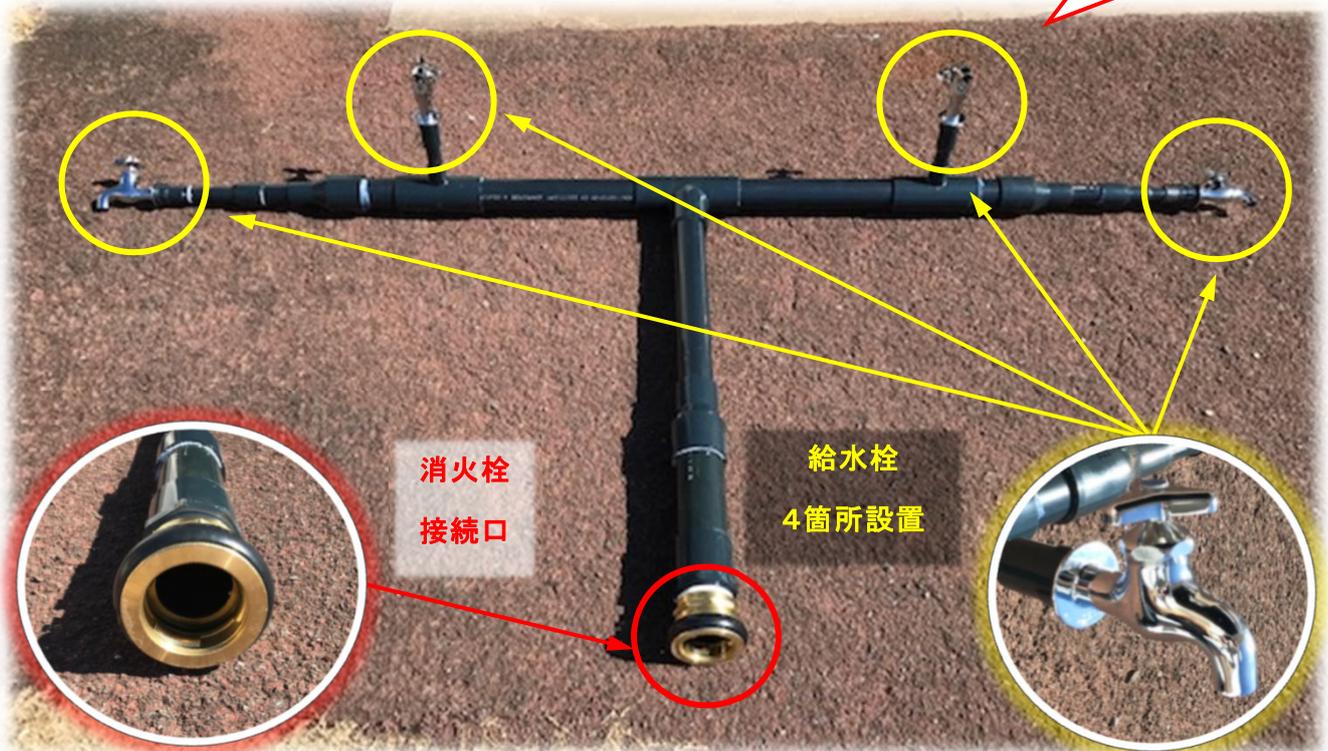
《HIVP管接続の基礎知識について講義》

応急給水栓の製作

会場を屋外に移し、各事業体ごとに応急給水栓の製作を行いました。

皆で協力して
製作します

応急給水栓(見本)



- ・ 給水栓(蛇口)により一度に4箇所からの応急給水が可能
- ・ 消火栓接続口を接合することで、市内の広範囲にある既存消火栓に接続が可能

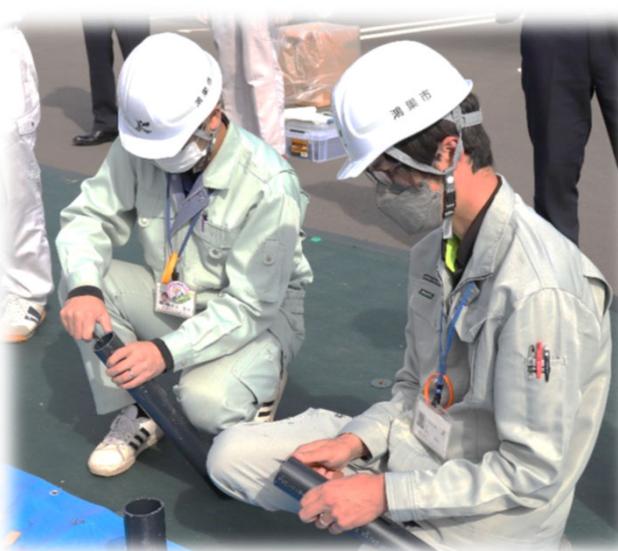
製作① HIVP管切断、面取り



《寸法測定》



《管切断》



《面取り》

製作② HIVP管接合



《接着剤の塗布》



《HIVPの接合》



《消火栓口、蛇口の接合》

講評・閉会



《研究会の総括と講評》

今後も、各水道事業体間で連携を密にとり、
有事の際に相互協力を図れる体制を構築します



《各事業体からの研究会参加者との集合写真》